

## IATF 16949およびIATFルール第6版のSIs・FAQsを更新

IATF (International Automotive Task Force: 国際自動車産業特別委員会)は、公式サイトにおいて、IATF 16949:2016規格およびIATFルール第6版に関するSIs (Sanctioned Interpretations: 公式解釈)ならびにFAQs (Frequently Asked Questions: よくある質問)の最新情報を随時公開しています。

SIsおよびFAQsは、審査員だけでなく、認証取得組織、認証機関をはじめとするIATF 16949認証制度に関わるすべての関係者が参照し、順守すべき重要な文書です。なかでもSIsは、既存の規格やルールの要求事項に対する公式な解釈や変更を示すものであり、公表された内容は最新の要求事項として適用されます。そのため、認証取得組織や認証機関の皆さまには、規格本文やルール文書だけでなく、最新のSIsおよびFAQsの内容についても継続的にご確認くださいことが重要です。

また、先日公開された最新版には、認証の維持や審査対応に影響を及ぼす可能性のある内容が含まれています。認証制度に関わる皆さまにおかれましては、適用内容をご確認いただくことをお勧めします。

最新のSIsおよびFAQsは、IATF公式サイト (<https://www.iatfglobaloversight.org/>) から入手いただけます。

## 新: ISO/IEC 27001審査員養成コンバージョンコースのご案内

審査員コースに、IRCA認定ISO/IEC 27001:2022審査員養成コンバージョンコース(認定No.2543)が新たに加わりました。

本コースは、既に5日間のマネジメントシステム審査員研修コースを修了している方を対象とした、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)の審査員養成コースです。通常5日間の研修内容を3日間に集約し、効率的にISO/IEC 27001審査員資格への拡大を目指す内容となっています。

また、本コースはIRCA認定コースとなっており、コース修了後に最終試験に合格することで、ISO/IEC 27001審査員補となるための資格要件の一部を満たすことができます。ISMS審査員としての知識・技能向上や資格拡大を目指す方は、この機会にぜひご活用ください。ご興味ございましたら、インターテックアカデミー&トレーニングまでお気軽にお問合せください。詳細は弊社ホームページをご覧ください。

## GX-ETS 排出量取引制度の登録確認機関に登録

インターテック・サーティフィケーションは、このたびGX推進法に基づく排出量取引制度「GX-ETS」の登録確認機関として登録されました。GX-ETSは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けたGX(グリーントランスフォーメーション)政策の一環として導入された排出量取引制度です。対象事業者には、温室効果ガス(GHG)排出量の算定・報告等が求められ、登録確認機関は、事業者が算定・報告する排出量について第三者の立場から確認し、その信頼性を担保する役割を担います。

弊社ではこれまで、ISO 14064やISO 14067に基づくGHG排出量およびCFP(カーボンフットプリント)の検証をはじめ、東京都・埼玉県の登録検証機関、GXリーグ登録検証機関として、企業の脱炭素化やサステナビリティ推進を支援してまいりました。今回の登録により、培ってきたGHG検証の専門性と第三者検証の経験を活かし、GX-ETS対象企業の排出量データの信頼性確保に取り組むとともに、企業のGX・脱炭素経営を支える第三者機関として、制度対応と排出量情報の信頼性向上に貢献してまいります。詳細は弊社ホームページをご参照ください。

## INFORMATION

～規格関連情報～

### FSSC 22000 Version 7 改訂のポイント

～食品安全文化の強化と持続可能性への対応、移行期間は2027年5月より開始～



FSSC財団は、2026年5月1日にFSSC 22000 Version 7(以下Ver. 7)を発表しました。Ver. 7では、GFSIベンチマーク要求事項2024への対応や、食品業界を取り巻くリスク・社会的要請を踏まえて改訂されました。食品安全マネジメントシステムの有効性をさらに高めることを目的としており、主な改訂点は以下のとおりです。

#### ①前提条件プログラムに対する新しいISO 22002-Xシリーズの組み入れ

- ・ISO/TS 22002シリーズからISO 22002シリーズ(2025年版)へ移行。
- ・衛生管理、施設・建屋の維持管理、清掃・消毒などの要求事項を最新化。
- ・より実践的な衛生管理体制の構築を要求。

#### ②食品安全文化(Food Safety Culture)の強化

- ・経営層の積極的な関与とリーダーシップを重視。
- ・教育・訓練だけでなく、従業員の意識向上やコミュニケーションの充実を要求。
- ・食品安全文化の評価と継続的改善を推進。

#### ③フードディフェンス・食品偽装防止の強化

- ・意図的な異物混入や悪意ある行為への対策を再確認。
- ・食品偽装のリスクの評価を定期的実施し、必要に応じて管理表を更新。

- ・サプライチェーン全体でのリスク管理を強化。

#### ④持続可能性への配慮

- ・製品・包装の設計段階から食品ロスや環境負荷の低減を考慮。
- ・SDGsや環境保全を意識した製品開発・改善を推進。

#### ⑤食品チェーンカテゴリの見直し

- ・認証のカテゴリや適用範囲を整理し、審査の一貫性を向上。
- ・各業種に適した要求事項をより明確化。

\* なお、Ver.7への移行期間は、2027年5月～2028年4月となります。

#### 【お問い合わせ】

- ◇ FSSC 22000改訂に関するご質問・お問い合わせは以下までお願いいたします。

食品認証部 Email: [jpn.ba.food@intertek.com](mailto:jpn.ba.food@intertek.com)